## 平成27年度事業評価結果(課・室)総括表

会計区分

一般会計

課·室名 教育振興課

教育振興課\_\_\_\_ (単位:千円)

							事	<b>美区分</b>					財源	内訳			評価	に多	ŧΰ	く今~	多の かんしゅん かんしょう かんしょ かんしょ かんしょ かんしょ かんしょ かんしょ かんしょ かんしゅう かんしゅう かんしゅう かんしゅう かんしゅう しゅう かんしゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう	対応
事	業	名	区分	経費区分	福井ふるさと元気宣言における位置付け			補の金	1	経過 年数	平成 28年度 予算額	国庫	起債	その他 特定 財源	一般	拡維充続	整理統合	縮休減止	廃止	終期の見直し	その他	見直し額
雲龍丸体験事業			新規	政策的経費	福井から人材育成	教育振興基本計画	0		H28	1	8,365				8,365							
教育研究所移転整	整備事業(改修	;)	拡充	政策的経費	福井から人材育成	教育振興基本計画			H27	2	469,745	339,537			130,208	0						ļ
スマート教育推進	事業		継続	政策的経費	福井から人材育成	教育振興基本計画	0	_	H26	3	75,874				75,874		)				$\perp$	ļ———
							Н	_										$\vdash$			+	
							Н	-													+	
								+										$\vdash$			++	
							Н	+								$\vdash$		+			+	
								+													+	
								$\top$													+	
																						<del> </del>
								_													$\perp$	<del> </del>
								$\perp$										$\vdash$			+	
								+										$\vdash$			+	
								-										_			+	
								+													+	
			1	+			H	+													+	
								+													+	
							Ш															<u></u>
								$\perp$													$\downarrow \downarrow \downarrow$	<del> </del>
			1	1														$\vdash$			$\downarrow \downarrow \downarrow$	
			1					$\perp$								$\vdash$		$\vdash$		$\vdash$	+	<u> </u>
			1	1			$\vdash$	+		_						$\vdash$		+		$\vdash$	+	
			1	1			$\vdash$	+										+		++	+	
				1				+										+			+	
								+										+			+	
								$\top$													+	
								$\top$													$\prod$	
																					$oxed{\Box}$	
							Ш	$\perp$										$\perp$			Ш	ļ
			<u> </u>	1			$\square$			<u> </u>								$\vdash$			$\perp \downarrow$	
			1				3		\	I 🔪	553,984	339,537			214,447	1 1						1

### 雲龍丸体験事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名		教育庁	課名	教	育振興課		課長名	穴吹器	憲男
福井ふるさと		□ 政推枠 ビシ	ジョン 〔	元気な社会	)	-1114		国庫	実行予算	事業	H28	年度			
における位	置付け	政	策〔	福井から人材育成	)	事業	•	県 単	補助金	開始	経過年数		事業終了 予定年度	H30	年度
関連する県の	の計画等	[	教育振興	基本計画	)			その他	その他	年度	1	年	, ,		

### [事業目的]

大型実習船「雲龍丸」による福井の海での体験を通じ、福井の自然や水産業を学び、ふるさとに愛着を持つ子どもたちの育成等を図る。

#### 「事業内容」

- (1) 一般の方を対象とした沿岸観測公開調査(1,867千円) アジ、サバ、イワシ、スルメイカ等の卵・稚魚・プランクトンを採集し、 生態や分布量の公開調査を実施する。
  - 対 象 一般

- ・実施日数 10日(午前)
- (2)親子を対象とした体験(431千円) 沿岸観測調査結果を活用した海洋講座や自然観察等を通じて海や漁業に ついて学習する。
- ・対象小中学生とその保護者
- ・実施日数 10日(午後)
- (3) 小中学生を対象とした体験(3,268千円)
  - 自然観察や操舵体験などを通じて海や漁業について学習をする。
  - ・対象県内小中学校の児童生徒・実施日数 17日

(4) 高校生を対象とした体験(407千円)

工業系高校生による大型船舶の機関・設備の実習をする。

対象 工業系県立高校の生徒

・実施日数 3日

- (5) 船内見学会(2,392千円) 操舵室、教室、調理室、生徒室、魚倉、救命装置など遠洋漁業を行う 漁船の構造をわかりやすく説明をしながら案内する。
  - 実施日数 100日(7月~9月、3月)

### [予算額の推移等]

(単位・千円)

									(千位:111/
区	分	2 4 年度	2 5 年度	26年度	27年度	28年度	29年度	3 0 年度	主な増減理由
当 初 予 算 額(	の推移					8, 365	8, 365	8, 365	
2 月現計予算	額の推移								
決算額の	准移								

### [成果指標等の推移]

	_									
	区	分	2 4 年度	2 5 年度	26年度	2 7 年度	28年度	29年度	30年度	目標・指標の考え方・積算根拠
成果指標	乗船者数	(目標)					(1, 750)	(1, 750)	(1, 750)	・公開調査 20人×10航海=200人 ・親子体験 20×10航海=200人 ・小中学生体験 45人×27航海=1,215人
	(見学会除く)	実績								・高校生体験 45人× 3航海=135人 (計) 1,750人
活動指標	実施日数	(目標)					(30)	(30)	(30)	<ul><li>・公開調査、親子体験 10日</li><li>・小中学生体験 17日</li></ul>
	(見学会除く)	実績								<ul><li>高校生体験 3日 (計)30日</li></ul>

#### [財源内訳・事業主体等]

区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	事業主体	県
予算額	8, 365				8, 365	事業実施方法	直営
17 异俄	0, 303				0, 303	補助率	

# 事 業 評 価

事 業 名	雲龍丸体験事業		部局名	教育庁	課名	i	教育振興課	課長名	穴吹憲男
[事業の必要性・要求の	D背景]								
	習船「雲龍丸」は、平成26年3月に到海での体験を通じて福井の自然や水産割					きあるこ	とから利活用	を求められてい	る。
[受益者]			[想定され	る受益者数]					
小中学校、高校	の児童・生徒および一般			6,750人					
<b>小田の壮</b> 刀	○実習船の活用 新潟県は、能生町(現:糸魚川市)に「越」 能生町は、「越山丸」を資料館に改造し道(				□ 無 ■ 有 (実績)	事業名	í		
他県の状況	〇実習船の売却 H23売却 鳥海丸(山形県)35,000千円(経 加能丸(石川県)74,700千円(経 雄山丸(富山県)87,700千円(経 H25売却 船川丸(秋田県)22,050千円(経	3過年数 17年5月) 3過年数 9年6月)	削争耒0	)有無・実績 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・		乗船者		実施日数37日) 実施日数 4日(7	航海))
関連事業の有無・ 役割分担	□ 無 □ 有 事業名 (役割分担)		市町と	の連携状況					
[事業の評価]									
	前年度の実績	実績を踏まえ	た28年度0	)変更点			事	業評価	
						拡充	□ 縮減	□ 終期の見直し	見直し額
						継続	口 休止	□ 完了	
						整理統合	口 廃止	口 その他	

### 教育研究所移転整備事業(改修)

区分	拡充	経費	区分	政領	<b>策的経費</b>	シーリング	外	部局名	教育	庁	課名	教	育振興課		課長名	穴吹器	憲男
福井ふるさと		□ 政推构	ピビジ	ョン	[	元気な社会	)	<del></del> - 1114	玉	庫	実行予算	事業	H27	年度	± 445 //h →		
における位	位置付け		政	策	(	福井から人材育成	)	事業区分	県	単	補 助 金	開始	経過年数		事業終了 予定年度	H28	年度
関連する県の	の計画等	(			教育振興	基本計画	)		その	他	その他	年度	2	年	<u> </u>		

### [事業目的]

老朽化の進む教育研究所を春江工業高校に移転し、新たな教育課題に対応した研究や「ふくいの教育」の発信などの機能を強化させることにより、教員の授業力・ 指導力の向上を進める。また、耐震工事が必要な自治研修所を同所に移転し、施設を有効利用する。

### [事業内容]

- (1) 春江工業高校の施設改修工事
  - ①研修室の整備等
  - ②自動車科実習棟の解体
  - 3)駐車場整備
- (2) 設備・備品の整備等
  - ①教育博物館の整備(展示ケース、パネル、映像機器等)
  - ②教育研究所の機能強化にかかる設備・備品の整備(サイエンスラボの実験機器、研修用動画教材作成機器等)
  - ③現教育研究所・自治研修所の設備・備品の移設
- (3) 構内駐車場への進入路整備

(単位:千円)

区分	2 4 年度	2 5 年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	主な増減理由
当初予算額の推移	;				469, 745			
2月現計予算額の推	:移			6, 802				・H27設計、H28に工事を実施するため予算額が増
決算額の推移								

### [成果指標等の推移]

	区	分	2 4 年度	2 5 年度	26年度	2 7 年度	28年度	29年度	30年度	目標・指標の考え方・積算根拠
成果指標	来館者数	(目標)						(5, 000)	(5, 000)	・生徒 約3,200人(理科実験、各種大会参加者)
		実績								・一般 約1,800人 (講座参加者、県外視察者、一般来館者)
活動指標		(目標)								
		実績								

### [財源内訳・事業主体等]

区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	事業主体	県
予算額	469, 745	339, 537			130, 208	事業実施方法	直営
17 异俄	409, 745	339, 337			130, 200	補助率	

# 事 業 評 価

事 業 名	教育研究所移転整備事業(改修)		部局名	教育庁	課	名	教育振興課	課長名	穴吹憲男
教育研究所につい ・福井のトップ	の背景] 老朽化の進む教育研究所をH28.3に閉構 なでは、国内外の先端教育に携わる研究者 プレベルの教育を国内外に発信する教育 ことのできない高度な実験を発信する	者との共同研究拠点、 <sup>す物館の整備</sup>	改員OBに。	よる教員研修・2					
			「想定される	 る受益者数]					
	・・中・高校の児童・生徒		90, 000						
他県の状況	〇香川県教育センター〈旧 がん検診センター ・ICT研修室の新設 ・教育相談関係諸室の拡充 ・交流スペースの拡充 ・教育ライブラリーの拡充	-を改修(H27.5月開設)>	前事業 <i>の</i>		■ 無 ] 有 字績)	事業名			
関連事業の有無・ 役割分担	□ 無 ■ 有 事業名 自治研修所移転整備 (役割分担)  改修工事の実施設計・工事は教育研究所移転 所にかかる備品等の移設は自治研修所移転整	整備事業で行い、自治研修		の連携状況					
[事業の評価]									
	前年度の実績	実績を踏まえ	た28年度の	変更点			事	業評価 	
教育研究所移転整備の	実施設計を実施(H27.9月補正)	教育課題の研究、研修の拠 もに、新たに教育博物館を		<b>機能を強化すると</b> る		継続整理統合	□ 縮減 □ 休止 □ 廃止	<ul><li>□ 終期の見直し</li><li>□ 完了</li><li>□ その他</li></ul>	見直し額

## スマート教育推進事業

区分	継続	経費	<b>達区分</b>	政策的経費	シーリ	リング	外	部	局名	教育庁		課名	教	育振興課		課長名	穴吹	憲男
福井ふるさと	_ / / / / /	□ 政推	枠 ビジョ:	ン〔	元気が	な社会		) _		国庫		実行予算	事業	H26	年度			
における位	立置付け		政	策 〔	福井から	人材育成		〕	· 業 分	県 単		補 助 金	開始	経過年数		事業終了 予定年度	H28	年度
関連する県	の計画等	[		教育振卵	興基本計画			]		その他		その他	年度	3	年			
[事業目的]																		
動画や音	声などI(	CT機器	の長所を	活かした英	語の授業や	や予習型技	受業を導力	人するなど	:、授業[	羽容の改善	によ	る生徒の	学力向上	につなけ	<b>する</b> 。			
 [事業内容]																		
【尹禾內谷】																		
・タブレッ	ト端末や:	ノフトな	ど必要な	機器等の導	入、整備る	を実施する	る。(平原	戊28年度	: タブし	/ット54	6台	整備)						
<del>┌</del> ┾╴⊓ <b>┟</b> ╴ӀӔ	<b>- 14-1</b>	<b>, 1</b>	. 4xı . — 4	. <b></b> ``	Tm, 44		т.											
				≀ブレットを∄ 武生、若狭、			_	<b>宇</b> 魚栽	姓士 宣	±ф1								
		工、油:	丌问未、,	风工、石灰、	石沃米、	纵开、突	, 吃明水、	日、关地	付义、同	心干」								
L滕 <b>岛、</b>	、同心、川																	
L滕 <b>岛、</b>	、同心、八																	
<b>上滕</b> 島、	、同心、门																	
<b>[滕</b> 島、	、同心、川																	
<b>[滕島、</b>	、同心、川																	
<b>[滕</b> 島、	、同心、川																	
[勝島、																	(単位:	: 千円)
		分		2 4 年度	2 5 年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度				主な増	<b>沪減理由</b>	1	(単位:	: 千円)
[予算額の推	<b></b> <b></b> <b></b> <b></b> <b></b> <b></b> <b></b> <b></b> <b></b> <b></b>	分		2 4 年度	2 5 年度	2 6 年度 62, 748				3 0 年度				主な増	<b>沪</b> 減理由	1	(単位:	千円)
[予算額の推	<b>推移等</b> ]	分額の推	移	2 4 年度	2 5 年度		68, 177	75, 874		3 0 年度		5中学校 1、	2年生へ				(単位:	: 千円)
[予算額の推	<b>養務等</b> ] 区	分額の推算額の	移 推 移	2 4 年度	2 5 年度	62, 748	68, 177 68, 177	75, 874		3 0 年度		5中学校 1、	2年生へ				(単位 :	: 千円)
[予算額の推	<b>達移等</b> ] 区 当 初 予 算 引 現 計	分額の推算額の	移 推 移	2 4 年度	2 5 年度	62, 748 62, 748	68, 177 68, 177	75, 874		3 0 年度		5中学校 1、	2年生へ				(単位 :	: 千円)
[予算額の推 当 2 月	<b>達移等</b> ] 区 当 初 予 算 引 現 計	分額の推算額の	移 推 移		2 5 年度	62, 748 62, 748 61, 774	68, 177 68, 177	75, 874			高志	5中学校 1、			ことに住	半う増	(単位 :	: 千円)
[予算額の推 当 2 月 [成果指標等	注移等] 区 当初予算 引現計予 決算額 手の推移]	分額の推りの推移の推移	推 移	2 4 年度		62, 748 62, 748 61, 774	68, 177 68, 177	75, 874			高志		目標	導入するこ ・指標の <b>考</b>	ことに住	¥う増 積算根拠	(単位 :	: 千円)
[予算額の推 当 2 月	注移等] 区 当初予算 引現計予 決算額 手の推移]	分額の推りの推移の推移	移 推 移 (目	2 4 年度目標)		62, 748 62, 748 61, 774	68, 177 68, 177	75, 874			高志	示中学校 1 、 3 年間のタブ	目標	導入するこ ・指標の <b>考</b>	ことに住	¥う増 積算根拠	(単位 :	千円)
[予算額の推 当 2 月 「成果指標等	接移等] 区 当初予算 引現計 第 決算額 Fの推移] 区	分額の推算額の推移分	移 推 移 (目	24年度目標)		62, 748 62, 748 61, 774	68, 177 68, 177	75, 874			高志		目標	導入するこ ・指標の <b>考</b>	ことに住	¥う増 積算根拠	(単位 :	: 千円)
[予算額の推 当 2 月 「成果指標等	注移等] 区 当初予算 引現計予 決算額 手の推移]	分額の推算額の推移分	移 推 移 (E	2 4 年度 目標) E績 目標)		62, 748 62, 748 61, 774	68, 177 68, 177 2 7 年度	75, 874 2 8 年度 (12)			高志		目標	導入するこ ・指標の <b>考</b>	ことに住	¥う増 積算根拠	(単位 :	千円)
[予算額の推 当 2 月 「成果指標等 成果指標 活動指標	接移等] 区 当初予算 引現計 第 決算額 Fの推移] 区	が かん	移 推 移 (E	24年度目標)		62, 748 62, 748 61, 774 2 6 年度	68, 177 68, 177 2 7 年度	75, 874 2 8 年度 (12)			高志		目標	導入するこ ・指標の <b>考</b>	ことに住	¥う増 積算根拠	(単位 :	千円)
[予算額の推 当 2 月 [成果指標 成果指標 活動指標 [財源内訳・	<ul><li>(本)</li><li>(本)</li><li>(本)</li><li>(本)</li><li>(本)</li><li>(本)</li><li>(本)</li><li>(本)</li><li>(本)</li><li>(本)</li><li>(本)</li><li>(本)</li><li>(本)</li><li>(本)</li><li>(本)</li><li>(本)</li><li>(本)</li><li>(本)</li><li>(本)</li><li>(本)</li><li>(本)</li><li>(本)</li><li>(本)</li><li>(本)</li><li>(本)</li><li>(本)</li><li>(本)</li><li>(本)</li><li>(本)</li><li>(本)</li><li>(本)</li><li>(本)</li><li>(本)</li><li>(本)</li><li>(本)</li><li>(本)</li><li>(本)</li><li>(本)</li><li>(本)</li><li>(本)</li><li>(本)</li><li>(本)</li><li>(本)</li><li>(本)</li><li>(本)</li><li>(本)</li><li>(本)</li><li>(本)</li><li>(本)</li><li>(本)</li><li>(本)</li><li>(本)</li><li>(本)</li><li>(本)</li><li>(本)</li><li>(本)</li><li>(本)</li><li>(本)</li><li>(本)</li><li>(本)</li><li>(本)</li><li>(本)</li><li>(本)</li><li>(本)</li><li>(本)</li><li>(本)</li><li>(本)</li><li>(本)</li><li>(本)</li><li>(本)</li><li>(本)</li><li>(本)</li><li>(本)</li><li>(本)</li><li>(本)</li><li>(本)</li><li>(本)</li><li>(本)</li><li>(本)</li><li>(本)</li><li>(本)</li><li>(本)</li><li>(本)</li><li>(本)</li><li>(本)</li><li>(本)</li><li>(本)</li><li>(本)</li><li>(本)</li><li>(本)</li><li>(本)</li><li>(本)</li><li>(本)</li><li>(本)</li><li>(本)</li><li>(本)</li><li>(本)</li><li>(本)</li><li>(本)</li><li>(本)</li><li>(本)</li><li>(本)</li><li>(本)</li><li>(本)</li><li>(本)</li><li>(本)</li><li>(本)</li><li>(本)</li><li>(本)</li><li>(本)</li><li>(本)</li><li>(本)</li><li>(本)</li><li>(本)</li><li>(本)</li><li>(本)</li><li>(本)</li><li>(本)</li><li>(本)</li><li>(本)</li><li>(本)</li><li>(本)</li><li>(本)</li><li>(本)</li><li>(本)</li><li>(本)</li><li>(本)</li><li>(本)</li><li>(本)</li><li>(本)</li><li>(本)</li><li>(本)</li><li>(本)</li><li>(本)</li><li>(本)</li><li>(本)</li><li>(本)</li><li>(本)</li><li>(本)</li><li>(本)</li><li>(本)</li><li>(本)</li><li>(本)</li><li>(本)</li><li>(本)</li><li>(本)</li><li>(本)</li><li>(本)</li><li>(本)</li><li>(本)</li><li>(本)</li><li>(本)</li><li>(本)</li><li>(本)</li><li>(本)</li><li>(本)</li><li>(本)</li><li>(本)</li><li>(本)</li><li>(本)</li><li>(本)</li><li>(本)</li><li>(本)</li><li>(本)</li><li>(本)</li><li>(本)</li><li>(本)</li><li>(本)</li><li>(本)</li><li>(本)</li></ul>	が 推 の 額 推 分	移 推 移 (E	2 4 年度 目標) E 看標) E 看標)	2 5 年度	62, 748 62, 748 61, 774 2 6 年度	68, 177 68, 177 2 7 年度	75, 874 2 8 年度 (12)	29年度	30年度	高志	3年間のタブ	しットを	導入するこ・指標の考	ことに住	¥う増 積算根拠	(単位:	: 千円)
[予算額の推 当 2 月 「成果指標等 成果指標 活動指標	<ul><li>(基本)</li><li>(基本)</li><li>(基本)</li><li>(基本)</li><li>(基本)</li><li>(基本)</li><li>(基本)</li><li>(基本)</li><li>(基本)</li><li>(基本)</li><li>(基本)</li><li>(基本)</li><li>(基本)</li><li>(基本)</li><li>(基本)</li><li>(基本)</li><li>(基本)</li><li>(基本)</li><li>(基本)</li><li>(基本)</li><li>(基本)</li><li>(基本)</li><li>(基本)</li><li>(基本)</li><li>(基本)</li><li>(基本)</li><li>(基本)</li><li>(基本)</li><li>(基本)</li><li>(基本)</li><li>(基本)</li><li>(基本)</li><li>(基本)</li><li>(基本)</li><li>(基本)</li><li>(基本)</li><li>(基本)</li><li>(基本)</li><li>(基本)</li><li>(基本)</li><li>(基本)</li><li>(基本)</li><li>(基本)</li><li>(基本)</li><li>(基本)</li><li>(基本)</li><li>(基本)</li><li>(基本)</li><li>(基本)</li><li>(基本)</li><li>(基本)</li><li>(基本)</li><li>(基本)</li><li>(基本)</li><li>(基本)</li><li>(基本)</li><li>(基本)</li><li>(基本)</li><li>(基本)</li><li>(基本)</li><li>(基本)</li><li>(基本)</li><li>(基本)</li><li>(基本)</li><li>(基本)</li><li>(基本)</li><li>(基本)</li><li>(基本)</li><li>(基本)</li><li>(基本)</li><li>(基本)</li><li>(基本)</li><li>(基本)</li><li>(基本)</li><li>(基本)</li><li>(基本)</li><li>(基本)</li><li>(基本)</li><li>(基本)</li><li>(基本)</li><li>(基本)</li><li>(基本)</li><li>(基本)</li><li>(基本)</li><li>(基本)</li><li>(基本)</li><li>(基本)</li><li>(基本)</li><li>(基本)</li><li>(基本)</li><li>(基本)</li><li>(基本)</li><li>(基本)</li><li>(基本)</li><li>(基本)</li><li>(基本)</li><li>(基本)</li><li>(基本)</li><li>(基本)</li><li>(基本)</li><li>(基本)</li><li>(基本)</li><li>(基本)</li><li>(基本)</li><li>(基本)</li><li>(基本)</li><li>(基本)</li><li>(基本)</li><li>(基本)</li><li>(基本)</li><li>(基本)</li><li>(基本)</li><li>(基本)</li><li>(基本)</li><li>(基本)</li><li>(基本)</li><li>(基本)</li><li>(基本)</li><li>(基本)</li><li>(基本)</li><li>(基本)</li><li>(基本)</li><li>(基本)</li><li>(基本)</li><li>(基本)</li><li>(基本)</li><li>(基本)</li><li>(基本)</li><li>(基本)</li><li>(基本)</li><li>(基本)</li><li>(基本)</li><li>(基本)</li><li>(基本)</li><li>(基本)</li><li>(基本)</li><li>(基本)</li><li>(基本)</li><li>(基本)</li><li>(基本)</li><li>(基本)</li><li>(基本)</li><li>(基本)</li><li>(基本)</li><li>(基本)</li><li>(基本)</li><li>(基本)</li><li>(基本)</li><li>(基本)</li><li>(基本)</li><li>(基本)</li><li>(基本)</li><li>(基本)</li><li>(基本)</li><li>(基本)</li><li>(基本)</li><li>(基本)<td>が 推 の 額 推 分</td><td>移 推 移 (E</td><td>2 4 年度 目標) E績 目標)</td><td>2 5 年度</td><td>62, 748 62, 748 61, 774 2 6 年度</td><td>68, 177 68, 177 2 7 年度</td><td>75, 874 2 8 年度 (12)</td><td>29年度</td><td></td><td>高志</td><td></td><td>しットを</td><td>導入するこ ・指標の<b>考</b></td><td>ことに住</td><td>¥う増 積算根拠</td><td>(単位:</td><td>: 千円)</td></li></ul>	が 推 の 額 推 分	移 推 移 (E	2 4 年度 目標) E績 目標)	2 5 年度	62, 748 62, 748 61, 774 2 6 年度	68, 177 68, 177 2 7 年度	75, 874 2 8 年度 (12)	29年度		高志		しットを	導入するこ ・指標の <b>考</b>	ことに住	¥う増 積算根拠	(単位:	: 千円)

補助率

# 事 業 評 価

の教員が連携し授業研究および改善を行る教育を進めるため、新しい教育モデが 授業に活用する動きがあり、より効果的の活用により、一斉指導による学び、・	ルとなる授業改善を進め 的なICTの活用方法を	っている。 E検討するこ 性に応じた学	とが重要。		児童生徒								
の教員が連携し授業研究および改善を行る教育を進めるため、新しい教育モデが 授業に活用する動きがあり、より効果的の活用により、一斉指導による学び、・	ルとなる授業改善を進め 的なICTの活用方法を	っている。 E検討するこ 性に応じた学	とが重要。										
		「相宁される			<ul> <li>「事業の必要性・要求の背景]</li> <li>・本県では、小中高の教員が連携し授業研究および改善を行い、全国トップレベルの教育水準を築いてきた。現在、児童生徒一人ひとりが、より主体的に個々の能力を伸すことができる教育を進めるため、新しい教育モデルとなる授業改善を進めている。</li> <li>・全国的にICTを授業に活用する動きがあり、より効果的なICTの活用方法を検討することが重要。</li> <li>・文科省は、ICTの活用により、一斉指導による学び、一人ひとりの能力や特性に応じた学び、教えあい学び合う協働的な学びの推進が重要であるとしている。</li> </ul>								
:			2 <del> // 2/ */</del> /1										
		[想定される受益者数] 約1,400人											
	実践推進校の生徒												
(佐賀県) 平成26年度から県立学校で毎年新入生がタ に全生徒でのタブレットを使った授業を実施		前事業の有	(5	I無]有 ] 有	事業名								
(役割分担)		市町との	<b>重携状況</b>										
前年度の実績実績を踏まえた		た 2 8 年度の変	更点	事業評価									
2 校にタブレットを導入(449台) 1 校にタブレットを導入(376台)				•	拡充 継続 整理統合	□ 縮減 □ 休止 □ 廃止	□ 終期の見直! □ 完了	見直し額					
	■ 有 事業名 教育情報化推進事業 (役割分担) 普通教室に各2台、特別教室に6台にノート 前年度の実績	■ 有 事業名 教育情報化推進事業 (役割分担)  普通教室に各2台、特別教室に6台にノートパソコンを整備  前年度の実績 実績を踏まえ  2校にタブレットを導入(449台)	■ 有 事業名 教育情報化推進事業 (役割分担)  ・	■ 有 事業名 教育情報化推進事業 (役割分担) 市町との連携状況 普通教室に各2台、特別教室に6台にノートパソコンを整備 前年度の実績 実績を踏まえた28年度の変更点	■ 有 事業名 教育情報化推進事業 (役割分担) 市町との連携状況    ・	■ 有 事業名 教育情報化推進事業 (役割分担) 市町との連携状況 普通教室に各 2 台、特別教室に 6 台にノートパソコンを整備 前年度の実績 実績を踏まえた 2 8 年度の変更点 □ 拡充 ■ 継続	■ 有 事業名 教育情報化推進事業 (役割分担)  ・ 市町との連携状況  ・ 普通教室に各2台、特別教室に6台にノートパソコンを整備  ・ 前年度の実績  ・ 実績を踏まえた28年度の変更点  ・ 「 拡充	■ 有 事業名 教育情報化推進事業 (役割分担)					